

プラークに関する補足資料です。



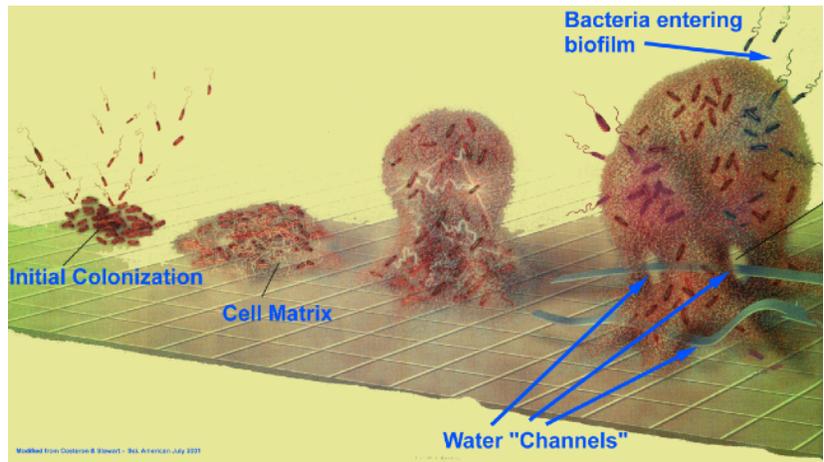
プラークとは？

プラークとは？

プラークは、食べかすなどではなく細菌の塊です。

食事後8時間後にはすでに形成され、針先ほどの量で数百万匹にも増殖します。

虫歯や歯周病を引き起こす細菌は単独では毒性を発揮できませんが、プラークという免疫が届かないバリアに守られることで毒性を発揮しやすくなります。



薬が届かない「バイオフィルム」

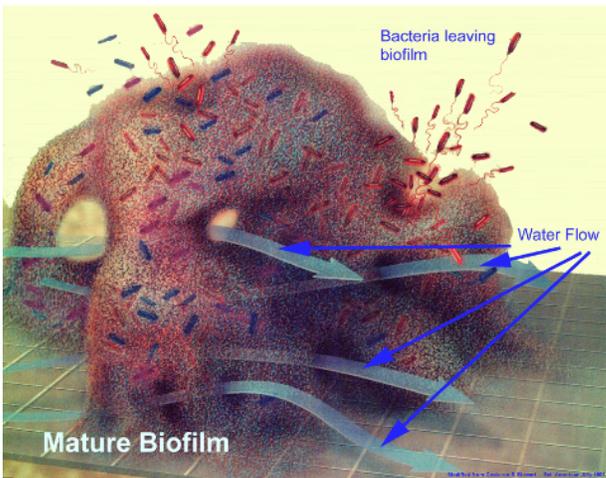
実はプラークは「バイオフィルム」と呼ばれる糖の膜で出来ています。

これは人間で言うところの集合住宅のようなもので、内部の環境を外から遮断するだけでなく、下水道管にあたるものまで完備しています。

水に溶けない成分のため、殺菌剤でうがいする程度では除去することもできず、免疫細胞も到達することができないため感染が長期に及びます。

また抗生物質も下水管のような構造から排出されてしまうため効果がほとんど望めません。

そのため**物理的に破壊すること**が唯一効果的な手段です。



歯周精密治療

歯周病予防プログラム

健康長寿

セルフケア教育

生涯メンテナンス



FUKUSHIMA
DENTAL CLINIC



日本歯周病学会 専門医

東京都多摩市馬引沢 2-3-29 MAHIKIZAWA f
TEL:042-389-0281 WEB:fukushima-dental.jp



歯科治療の第一歩『プラークコントロール』

細菌の塊である「プラーク」が毎日いない状態に保つことを「プラークコントロール」と呼びます。

プラークコントロールの効果は絶大で腫れ上がった歯茎でも、歯ブラシひとつで改善することができます。



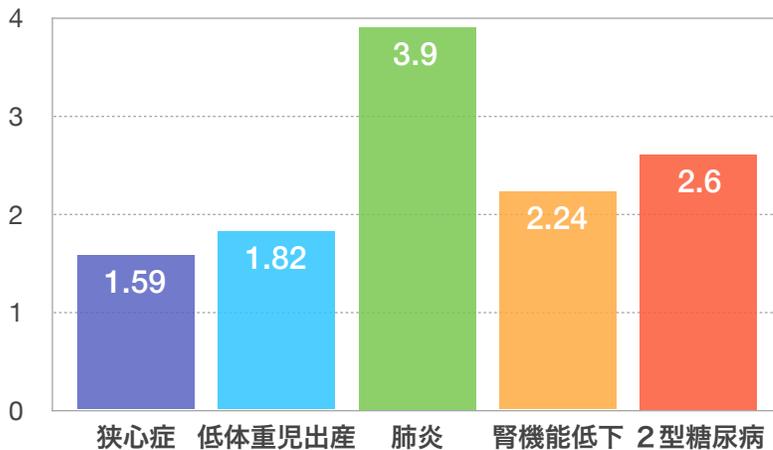
プラークの染め出し検査

プラークをお薬で染め出し観察・記録を行い、**全体の何%の部位に磨き残しがあるのかを測定します。**この値を**PCR**と呼んでいます。

エッセンシャルでは参加者全員に共通してプログラム中に達成すべき目標値を設定しています。



歯周病によってリスクが高まる疾患



目標値達成にこだわる理由

今から30年以上行われた研究です。すでにプラークコントロールができていない状態で歯科治療を行っても、**4～8週間でもとの状態に戻ってしまう**ことが証明されています。

さらに血管が豊富なお口の中にプラークを残しておくことで、細菌が全身に散らばり、左の図のような病気のリスクが高まることも近年の研究から明らかとなりました。

お口の中から全身の健康を保ち、健康的な食生活を送るために目標値の達成にこだわっているのです。